

打瀬小 チャレンジフェスタ

2・3月は学年末です。学校は1年間の学習活動のまとめをする時期。打瀬小では毎年2月中旬に、保護者が参観する中、全学年で「チャレンジフェスタ」と呼ばれる発表活動が行われます。日頃マンションの通路で走り回って鬼ごっこをしている小学生たちは、学校でどんな学びをしているのかな、そんな興味を抱いて2月18日土曜日、学校に向いました。【小原詠子】



福祉をテーマに発表をおこなった5年生の会場。発表者は一度も原稿をみることなく堂々と発表を行うなど非常に質が高く、聞いている大人も緊張感につつまれて聞き入っていました。

打瀬小はチャレンジフェスタで、個人発表と、グループ発表を学年ごとに体験させています。1・4・6年生が個人発表で、2・3・5年生がグループ発表という構成です。6年生は卒業研究ということで小学校での学習の集大成になります。今回は1年生と5年生をじっくりと見てきました。

「できるようになったよ」というテーマで個人発表の1年生は、教室前方の発表スペースで縄跳びやフラフープ、マット運動など様々なパフォーマンスが繰り広げられていました。縄跳びでは縄がひっかかってしまうと「もう一度やります」と諦めずに繰り返し頑張ります。心配そうに眺めているお母さんたちの手元には招待状やプログ

ラムがありました。見せてもらったあんりさんからの招待状はきれいに色が塗られ、「たいそうでいっぱいれんしゅうしたのでさいごまでみてください」といねいな字でメッセージがありました。

記者の隣で緊張ぎみに見ていたお母さんのお子さんの番が来ました。りささんの折り紙披露です。目の前で複雑な折り紙を説明しながら作っていきます。あっという間にとってもきれいなバラの花が出来ました。「親もドキドキです」と無事に終わってほっと笑顔になっていました。

次に参観した5年生は「気づこう！幸せの輪～福祉～」というテーマの学習発表。3組の教室ではちょうど4人のグループが

視覚障がい者の仕事、施設、介護人など様々な角度から調べた事柄を、プロジェクターに資料を提示しながら説明していました。原稿の棒読みではなく、聞き手をしっかり見て「説明」しています。プロジェクターの提示資料を替える役もいて、滞ることなくチームワークばっちりでした。

あるお父さんはインタビューに「息子が司会をすることを今日知って驚きました。秋頃から自宅のパソコンで調べ始めていましたが、内容や言葉が大人用なので難しく、自分なりにわかろうと格闘していました。今年が一番研究らしくなり、これが卒業研究につながるステップですね」。そして、お母さんも「他のグループのいいところを見つけて感想を言うのも上手になりました」と子どもたちの心の成長もひしひしと感じている様子でした。

全ての発表が終わって出てきた生徒にどんなところを頑張ったのか尋ねると「ゆっくり、はきはき、大きな声で発表！」「スピードも調節したよ」「大切なところに線を引いて工夫した」などと答えてくれたみんなは、先ほどの緊張した面持ちとは違って達成感にあふれていました。

チャレンジという成長のステップを着実に一歩上がったみなさん、新学年はもう目の前。次はどんなことに挑んでいくのか楽しみですね。



フェスタは教室だけでなく校庭でも行われていました。写真はなわとびができるようになったことを発表する1年生です。



3年生の発表(写真上右)を聞く保護者(写真上左)。チャレンジフェスタでは学年ごとに発表形式が異なっていて、3年生はグループで研究した成果を発表していました。



6年生は恒例の卒業研究発表を行っていました。6年生の卒業研究発表はこのフェスタ終了後もつづきます。

子ども記者が伝える

今僕の学校では…

美浜打瀬小 卒業式実行委員会

No.10
美浜打瀬小編

美浜打瀬小学校では、児童自身の力で卒業式をより良いものにしていくため、現在「卒業式実行委員」を立ち上げて卒業式に向けて準備をしています。今回は実行委員の中から3名の児童に、どんな思いでどんな活動をしているか報告してもらいました。



合唱曲を決めるときは、候補曲を挙げて、その中から選びました。私たち卒業式実行委員は、自分の意見をしっかりと持って話し合ったので、反対の考えが出てくることもありましたが、「変わらないもの」「旅立ちの日に」に決まりました。決まってからは、みんなが心を一つに歌い上げようという決意をもつことができました。

6年1組 沼口 未実

私たち卒業式実行委員は、卒業式のクライマックスにふさわしい呼びかけを考えました。6年間の思い出をギュッとつめこんだ呼びかけにするため、クラスの友達に意見をもらいながら話し合いを重ねました。そして、私たちの小学校生活の思い出や父や母への感謝の気持ち、在校生への思いをつめこんだ呼びかけを作ることができました。これからは、呼びかけの内容がしっかりと伝わるように、練習をがんばっていきます。

6年2組 中原 恋奈

卒業式の練習では、一人一人が納得できる歌を決め、みんなが卒業生という自覚と責任をもって行動しています。また、「姿勢をくずさずイスに座る」「まっすぐ背筋を伸ばして立つ」など、みんなに声をかけながら、自分たちの卒業式に向けて、練習に対して真剣に取り組んでいます。

6年3組 坂尻怜緒菜

ゴミ空気輸送システムで火災発生

今、ゴミ空気輸送システムが使えなくなったらどうなるでしょうか。ゴミを毎日捨てられる便利な生活がストップする、そんな事態につながりかねない事故が新年早々ありました。これは利用者としては是非知っておくべきことと考え、ベイトウン協議会ゴミ問題委員会に取材しました。【小原詠子】

年明け早々、ゴミ収集が再開されたばかりの1月5日(木)午前11時36分に、幕張クリーンセンターの不燃ゴミ用のコンテナから出火しました。今回は発見・消火が早かったこともあり、輸送システムが重大な損傷を受けることはありませんでした。原因は特定されませんでしたが、焼け跡からガスライターやスプレー缶が発見されました。それらは本来有害ゴミとして分別されるべきものです。

不燃ゴミは各マンションの投入口に入れられたあと、空気輸送システムを通過してクリーンセンターに集積され、それをまとめて処理場に運搬するという流れで処理されます。もし出火がその輸送管内であったら被害が大きくなっていった可能性もあります。長期にわたる収集停止、ベイトウンの地下に網の目のように広がる空気輸送システムの修理もどのくらいの費用になるかは予想もつきません。捨てた人は、一回ぐらいと思っていたのですが、取り返しのつかない事態は往々にしてちょっとした気の緩みから始まるものです。

「空気輸送システムと聞くと、単なるパ

イプのつながりというイメージでとらえてしまいがちです。でも各マンションの投入口の下や、地下に広がる空間の要所にある様々な大型の機械が相互に作動してはじめて順調に輸送されます。この空気輸送システムを長く使っていくためにはそれらの日常的なメンテナンスが欠かせず、かなりの人手と費用がかかっていることを知っていただくと大切に使用してもらえるでしょうか」と取材を受けてくれたベイトウン協議会ゴミ問題委員の小川さん、黒澤さん、湯浅さんは語ってくれました。「他の地域に比

べて利便性の高いこのゴミ処理システムを長く維持・稼働するために、皆できちんとルールを守っていききたいものです」

ゴミ出しだけでなく生活全般のルールに関する高い意識や配慮は、最終的には自分たちの快適な生活を守ることにつながります。今回の事故を今一度気を引き締める機会にしたいものです。

今回の取材で、ベイトウン協議会で昨年「ごみ空気輸送システム維持管理連絡会」が発足したことも知りました。ほとんどの街区管理組合や住宅管理会社が加入し、市からの連絡や各街区のゴミ処理態勢のあり方、有効な管理例などの情報共有を目的としています。空気輸送システムを守るには人や情報の横のつながりも大事です。そして今回の火災事故のような大事な情報が迅速にあまねく住民に伝えられるようなシステムに進化していくといいですね。



発火したコンテナ内部(写真左)とゴミに混入していたスプレー缶(写真右)

美浜打瀬小の「6年生を送る会」リハーサル

今学期も後期に入り、卒業シーズンが近づいて来ました。ベイタウンの4つの小中学校でも卒業式とともに在校生が6年生（中学では3年生）を送る会の準備に余念がありません。合唱や劇など各学年でそれぞれ生徒と先生と一緒に卒業生を送る気持ちのこもった出し物を考え、練習しています。フォーマルな卒業式に比べると少しくだけて楽しそうな送る会を美浜打瀬小5年生に取材して来ました【松村】

2月22日の午後、美浜打瀬小のアリーナでは5年生による「6年生を送る会」のリハーサルが行われていました。

この日は全学年がアリーナで順番にリハーサルをやっていましたが、それぞれの学年は別々に時間を区切ってアリーナを使って行われていて、保護者にも公開されていました。ただ全学年の保護者を入れるにはアリーナでは手狭なため見られるのは自分の子どもの学年の演目だけということでした。

しかし送る会の本番を見られるのは6年生の保護者だけです。ということはこの日のリハーサルは実質的には自分達の成果を保護者に見せる最初で最後の機会になります。



す。

保護者に見てもらおうということもあってか、合唱や演技なども練習を重ねたようすが伺える完成度の高いものでした。

記者から見ると子ども達が真剣にやっている姿は微笑ましくもあり、よくやっているところと及第点をあげたいところですが、先生の目は厳しく、最初の挨拶からダメ出しの連続。3度ほど繰り返してやっとOKが出ました。1回目に比べると確かに良くなっていて、指導する先生の力量にも関心しました。

子ども達の送る会に取り組む姿勢はとて真剣で、あれだけ素直で純粋に堂々と演技されるとこちらが恥ずかしくなるほどで



す。感激しました。

今日は美浜打瀬小の5年生だけでしたが、今のシーズンどこの学校でも卒業式と送る会の練習が1日中つづいています。会の取材のあと中学校の傍を通りかかると最近の卒業式の定番「旅立ちの日に」の練習をする声が3年生の教室から聞こえてきました。もうすぐ卒業式です。

学芸会は何処へ行った。

この時期は年配の方に「学芸会」がなつかしいでしょう。昔は小学校では学芸会が定番でしたが、今は小学校で見かけることはありません。代わって登場したのが「6年生（3年生）を送る会」です。記者はこれまで送る会はフォーマルな卒業式に対する、少しくだけた卒業式的一种だと思っていましたが、美浜打瀬小の大野校長先生にお聞きしたところ、意外にも送る会は学芸会が変化して広まったものとのことでした。

学芸会は戦後すぐに小学校で日頃の教育の成果を保護者に見せるための催しとして行われたもので、内容も歌や劇が中心でした。一方送る会も卒業生を送る会として歌や演劇を練習して6年生に見せるための催しとして昭和30年終わり頃から始まったようです。千葉市では登戸小学校で昭和39年に行われたのが最初のことです。両者は内容が似ている上に時期も近かったため自然に一体化したようです。つまり送る会は日頃の練習の成果を保護者に見せる学芸会としての一面もある訳ですね。

ベイタウン協議会が小フォーラム開催

「ベイタウンにはいつまで住み続けられるのでしょうか？あと30年？50年？それとも100年？」

2月18日（土）。ベイタウン・コア講習室で開かれた「街の美しさを知ろう」と題する小規模なフォーラムで話し合われた内容です。この街ができた頃は建物も新しく、「いつまで住み続けられるのか」などと考えたこともありませんでしたが、最近になって建物の劣化とともに、歩道のインターロッキングがはがされアスファルトになっていたりするのを見るとこんな疑問が湧くようになりました。

ベイタウンのようにほぼ同時期に建てられたコンクリートづくりの街はいつまで街としての機能を果たすことができるのでしょうか。もし建物が劣化し、誰も住まなくなったらこの街は廃墟になるのでしょうか。100年は無理でも数十年後にも輝く街として若い世代を惹きつけ、子ども達が「故郷」と呼べる街にすることはできないのでしょうか。

街の将来を考えると、個々の番街の維持管理とともに問題になるのが道路や公

園、街灯や街路樹などの公共部分です。ベイタウンではこれらの公共部分は他の街よりもはるかに上質で機能の優れたものを採用し、そのことが街の資産価値を高め、人を惹きつける大きな要因になってきました。電柱がなく広い歩道。統一感のある建物と街路がつくる景観はベイタウンが人を惹きつける最大の魅力です。

しかしこれらの景観は年と共に劣化し、街のあちこちでは雑草に覆われた街路樹の根元や目立つことしか考えない看板が増えてきました。このまま放置してベイタウンが景観という魅力を失えば、もともと地縁や歴史のない街からは人がいなくなります。

今回のフォーラムは街のマネージメントを住民組織で行うことを目指して設立された「ベイタウン協議会」の景観委員会が問題に対する答を探ろうと開催しました。

この日参加したのは約50人。この種のイベントとしては非常に多く、年代や性別も様々でした。この問題への関心の高さが伺えます。

基調講演では千葉市で景観アドバイザー

をつとめる建築の専門家から今も色あせないベイタウンの建築界における先進性や評価が紹介されました。特に通常のマンションに比べてベイタウンの建物は築後の資産価値の落ち方が鈍いことや、欧米では管理が行き届いた建物はヴィンテージハウスとして不動産価値が高いと紹介されたことがとても印象的でした。

子ども達やさらにその子ども達の世代まで、この街を故郷として住み続けたいと願うような街にするには街が景観という大きな魅力を失わずにいることが大切です。フォーラム後半の意見交換でもそのことが大きく取りあげられていました。何世代にもわたってこの街が輝き続けるためにいまからできることは何か。フォーラムはこの後も公民館講座として定期的開催されます。【松村】



コア・ホールに練習用のピアノをお譲りください

ベイタウン・コアの音楽ホールに常設する練習用ピアノのご寄付をお願いします。寄贈いただいた方には些少ですがお礼を差し上げます。

ベイタウン・コアは開館から14年。備品にも多くの故障や不備が出てきました。そしてついには音楽ホールに常設のアップライト・ピアノも不具合が散見されるようになりました。

ピアノは本来公民館用に千葉市が備えるものですが、コア・ホールでは演奏会用にFazioliを購入したため練習用の常設ピアノは開館当時の関係者から寄付されたものを千葉市の備品として使っていました。

練習用とはいえ、使用される頻度はFazioliよりもはるかに多く、音楽系サークルではほとんどが毎回の練習時にこのピアノを使用します。

今回は「サークル協議会」が寄贈の申し出のあったピアノを審査・受領し、千葉市に寄付する形になります。寄付後は千葉市の管理する備品となり、ピアノには寄贈された方のお名前を記載します。

ご家庭でご不要になったピアノをぜひコアのピアノとして残して下さい。

お申し出締め切り：3月31日。

お問合せ：打瀬公民館 TEL：296-5100 村山（館長）



第2回 アトリウム・コンサートのお知らせ

日時：3月25日（土）午後2:00～

場所：ベイタウン・コア アトリウム（入口付近の空間）

出演：Jr コーラス・フェアリーズ

昨年12月に開かれた第1回「アトリウム・コンサート」は盛況でした。ホールという閉ざされた空間ではなく開放的な雰囲気、気軽にくつろげるアトリウム・コンサート。普段は図書館に行くため素通りしていたアトリウムの賑やかな雰囲気に、つい本を小脇に抱えたまま聴き入る親子連れの方もたくさんいました。

コアをもっと身近なものにと願って開かれた第1回コンサートの流れをそのまま引き継ぎ、第2回コンサートでは子どもたちに人気の「ジュニア・コーラス・フェアリーズ」が登場します。お子様連れでぜひおいでください。

ベイタウンニュース記者を募集します

ベイタウンニュースでは記事を書いてくれる人を募集しています。中学生以上の方なら誰でも応募できます。資格は特にありませんが、毎月第1土曜日の午前中に行われるニュース配布の会に参加できることが条件です。

参加資格：中学生以上。性別は問いません。

特定の政治・宗教、営利目的での広報を目的とする方は参加できません。

連絡先：mazmbtn@gmail.com 松村（TEL：211-6853）

第12回 幕張ベイタウン室内合奏団 演奏会

日時：2017年3月12日（日）13:30 開場、14:30 開演

場所：ベイタウンコア・ホール

プログラム（演奏順）：

ブラームス ハンガリー舞曲 19番、4番（ピアノ連弾）

ドビュッシー 弦楽四重奏曲 ト短調 Op.10

スメタナ「わが祖国」よりモルダウ（ピアノ連弾）

ベートーヴェン 弦楽四重奏曲 第13番 変ロ長調 Op.130

コア・フェスタ 今年も11/4（土）、11/5（日）に開催

今年の「ベイタウンコア・フェスタ」は、11/4（土）、11/5（日）の開催予定です。

今年のフェスタのキャッチフレーズは「出会い ふれあいコアフェスタ」。今までのコアで活動するサークルの発表だけでなく、この街の人、大人も子どももだれもが楽しいベイタウン秋の「文化祭」にパワーアップします。

コアフェスタ実行委員会はこれから半年をかけて楽しいフェスタをつくります。ご期待ください。

お問合せ：打瀬公民館 コアフェスタ実行委員会事務局

TEL：296-5100

ベイタウンニュースに公告をだしませんか

ベイタウンニュースは近隣の企業や商店からの広告費で運営されています。毎月ベイタウンの全戸に確実に情報が届きます。紙面への掲載、チラシの挟み込みどちらにも対応しますので広告をお考えの方、また広告主をご紹介いただける方は下記にご連絡ください。

TEL：043-211-6853、E-mail：mazmbtn@gmail.com（松村）

3月のコア・イベント

わくわくおはなし会 3月のおはなし会

日時：3月18日 第3土曜日

時間：午前10:30から

場所：ベイタウン・コア講習室

今月もわくわくするお話を用意してお待ちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どもも来てね。

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね** <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

お問合せ先：chibawaku2@freeml.com

第158回ファツィオリの会（コア文化振興基金後援事業）

日時：3月26日（日）午前9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

締切：3月19日（日） 申込先：masamisato-utase@ezweb.ne.jp（佐藤）

3月25日（土）寺子屋工作ランド

「レインボースコープ」をつくろう

日時：3月25日 第4土曜日 9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア工芸室

にじ色の万華鏡みたいなふしぎなスコープ。なにが見えるかな。

持ってくるもの：はさみ、木工ボンド、きれいな千代紙

参加費：50円（保険料）